

中尾 ミエ

MIE NAKAO



本 名 : 中尾 美禰子
(なかお みねこ)
生年月日 : 1946年6月6日
音 域 : F (下) ~ A b (上)
趣 味 : 水泳
書道

【レコード・CD】

「可愛いベイビー」「片想い」「バイバイパディ」「さびしいから」
「帰ってきた女」「恋はうそつき」「三つの自画像」他
●2001年7月オリジナルジャズCD発売中「smile01」
●2004年6月オリジナルベストCD発売「片想い／三つの自画像」
●2007年6月カバーアルバムCD発売「団塊娘」

【映 画】

「ハイハイ3人娘」「台所太平記」「香港クレージー作戦」「男嫌い」
「わてら祇園の舞妓はん」「若い季節」「日本一のゴマすり男」「ひき逃げファミリー」
「信さん・炭坑町のセレナーデ」「人生、いろいろ」 他

【ド ラ マ】

「野々村病院」TBS、「玉ねぎむいたら」TBS、「天まで上がれ」NTV
「嫁かず出戻り小姑」CX、「ホットドック」TBS、「走らんか」NHK
「本家のヨメ」NTV、「薔薇の十字架」CX、「おとなの夏休み」NTV
「ママはバレリーナ」TBS、「バッテリー」NHK、ひるドラ「オーバー30」CBC 他

【バラエティ】

「アイアイゲーム」CX、「ミエと良子のおしゃべり泥棒」TX、
「お笑いスター誕生」NTV、「世界ふしぎ発見」TBS、
「わくわく動物ランド」TBS、「タモリの音楽は世界だ」TX、
「目撃!ドキュン 今夜の決断」ANB 他

【舞 台】

2001年11月7日～11日 銀座博品館劇場 40周年記念ショー開催
2004年1月中 「ミエとゆかりと若大将」
2004年3月17日～4月18日 青山劇場 「ミュージカル スター誕生」
2007年10月4日～14日 銀河劇場 ブロードウェイミュージカル「PIPPIN」
2008年7月6日～16日 銀河劇場 ブロードウェイミュージカル「PIPPIN」
2008年～2013年 新国立劇場他 オリジナルミュージカル「ヘルパーズ」
2013年4月～5月 青山劇場・森ノ宮ピロティ ミュージカル コーヒープリンス1号店

■デビュー前■

昭和36年。一通の紹介状を持った少女が渡辺プロダクションを訪れた。15歳の中尾ミエである。芸能界という華やかな世界に憧れ、そして挫折する多くの若者たち。だが彼女は諦めなかった。厳しいレッスンと学校を意地と根性で続けた。そしてその姿は、やがてプロダクションサイドを動かす。もちろんそれは実力をふまえたうえでのことであった。

今でも中尾ミエの仕事に対する姿勢は、その頃と変わらず情熱的で前向きである。

□デビュー曲□

昭和37年3月初めてのレコーディングをする。「可愛いベイビー」である。小さな子供からお大人までなんとなく口づさみたくなるようなメロディーのこの歌は、昭和史に残るメガヒットとなり、中尾ミエは一躍スターとなる。

■三人娘■

中尾ミエを中心に伊東ゆかり、園まりと共に「三人娘」としてトリオを組み、人気者となり一時代を築く。この中でも彼女はしっかり者という個性を出し、強烈な印象を大衆にうえつけた。

□映画・ドラマ□

デビュー当時から歌だけでなく、映画やドラマでも活躍してきた彼女の役柄は、いわゆるスカッとした主人公ではなく、演技力を要求される脇役が多かった。個性を生かした役づくりで人々の共感を呼び又その演技が認められ、昭和38年歌手としては初めて映画製作者協会から「新人賞」を受賞した。

「ひき逃げファミリー」では母親役を演じ、東京国際映画祭等で大好評を博している。

■バラエティ■

中尾ミエのキャパシティの広さを物語る上で、忘れてはならないものがバラエティでの活躍である。持ち前の細やかな気配りと洒落たおしゃべりは、番組を引き締める重要な役割であり、面倒見の良い性格からスタッフと出演者に絶大な信頼を得ている。

□コンサート・ディナーショウ□

中尾ミエのコンサートは楽しい。文句なしにそう断言できる。どんなジャンルの歌も、彼女の独特な魅力に彩られる。幅広いレパートリーと軽妙なおしゃべりで観客を魅了し、ホール全体を感動の渦にまきこんでしまうのだ。

株式会社 アスレティック・ミエ・カンパニー

Tel (03) 3329-1491

Fax (03) 3486-5810